

# 北アルプス表銀座・燕岳(2,712m)山行記録

(優雅に四婆、二日間の満足登山紀行)

日時	令和元年8月4日～8月6日	天気：両日共晴れ
参加者	CL 藤木た、SL 森永、川村、小笠原	

## コースタイム

- 8/4 中房温泉 7:40～第一ベンチ 9:00～第二ベンチ 10:05～第三ベンチ 11:25  
風見ベンチ 12:50～合戦小屋 13:55～燕山荘 15:50
- 8/6 燕山荘 5:10～合戦小屋 6:10～風見ベンチ 7:00～第三ベンチ 7:55～  
第二ベンチ 8:50～第一ベンチ 9:35～中房温泉 10:35 (下山)

## 8/4 晴れ

前日の暑さ・マイクロバスでの長い乗車も大変だったが、今日朝食をきちんと腹に入れいざ出発です。気温が上がっている様子だ。日本3大急登?の始まり始まり、A班はゆっくりと歩きだす。第一ベンチにトウチャコしばし休憩をとる。群馬のおじちゃんと仲良くなり会話が弾む。おじちゃんは玉蒟蒻が有名なので送るが、北海道のカニを送ってほしいとの事だったが、どうも値段が合わず成立せず。第二・第三・風見ベンチを過ぎ、いよいよ合戦小屋の蕎麦とスイカ楽しみにもくもく登る。や



っと着いた!が残念、蕎麦品切れ(あちゃま〜)スイカを頬張る、何と美味しい事しあわせ〜。合戦小屋を出発し、直ぐにおサルの歓迎を受ける、6匹いたかな木の枝を身軽に飛び回っていた。燕山荘まで15~20分の所で宇佐美さんのお迎えを受け、一人分のザックを抱えて、あっという間にいなくなる。(月光仮面かな)燕山荘にトウチャコ。藤木リーダーが迎えてくれた。後は当会の女性は一人として出迎えは無かった。

(ツアーじゃなくて会の個人山行なのに)・・小屋の前で宇佐美氏はもう大ビールを購入していた。元気の源はそこにあるのかな〜燕山荘に落ち着いた後、美味しい夕食に舌ずつみ。

B・C班は明日の準備に余念がない。

## 8/5 晴れ

B・C班を送り出し、朝食までののんびり時間を満喫する。

朝食後、燕岳を目指す。何十年前とはちょっと様子が変わっている。花シヨウ岩の尾根街道、コマクサの群落、槍ヶ岳がいつまでも聳え、そして頂上は目の前、私達4婆を迎えてくれる。



写真を撮ったり休憩しながら最高の一日でした。がまだまだ最高は続く。燕岳登山時に小屋前にライチョウの親子(ヒナ4羽、私達みたく可愛い?)燕山荘に戻り横になって時間を費やし、お昼「さあ、何食べようか」その前に一杯のコーヒーを飲みましょうか。四婆コーヒーだけでは済まなかった。対面で「チキンカレーライス美味しかった」見逃さなかった。即注文それも2皿頼んで四婆で平等にお腹の中。大したもんだ関心する。更に、三時過ぎには「小腹がすいたね」と喫茶室に出向きコーヒ

一を注文するがそれだけでは収まらなかった。おでん二人分を頼み四人で平等に（歳を重ねるごとに何でもできるかもしれない・・・カレー&おでん最高に美味しかったよ。



## 8/6 晴れ



ご来光を見ながら、燕山荘最後の朝食を頂きゆっくりとした中に、これからの下山慎重に下りる。明るくなり登山道も前日に降った雨も乾いている、よ～し下山開始。合戦小屋で休憩後ベンチを4回クリアーして無事に中房温泉にとうちゃこ(到着)。

マイクロバスの田原さんが待っていた。本当に上り下り大変だったがどうにか行って来れて自分の足にお礼を言った。腰痛・脚、膝による各自の気使いは大変だったと推察します。皆さんは頑張って良くやりました。マイクロバスに乗車し、C班・常念岳組を迎えに一ノ沢登山口へいざ出発。登山口の駐車場脇の原っぱでC班の3人待機していた。乗車後は上高地に向け出発。四婆の今回の山行は、今までと違い写真をゆっくり撮影したり、花を観察したりの山行でした。ただ登るだけではなく、何となくこれからの山登りの有り方の勉強になりました。皆、70歳（セブンティーン）まだまだ頑張りますよ。

\*家についてビックリ“

- ・フェリーの暗がりの中で、着た服は裏返しの前後に着ていました。
- ・唇が乾いたので、リップクリームをぬったつもりが、色のついた赤い方のリップクリームをゴシゴシぬりました。家について鏡を見たら真っ赤な口でした。恥ずかしいです！（誰だかわかりますか）

記録 藤木た・川村

